



一般財団法人
福島医大トランスレーショナルリサーチ機構

未来の パンデミックに 備える

主な活動内容

1. 未来のパンデミックに備えるために病原体に対する抗体遺伝子の網羅的取得およびそれらの備蓄
2. 福島医薬品関連産業支援拠点化事業の研究成果・知財・技術の移転・活用・普及活動
3. 国民の健康増進および日本の科学技術の進歩のための研究・教育活動

理事長ご挨拶

一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構は、福島県立医科大学医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター（TRセンター）で行われている、東日本大震災復興プロジェクトの1つである「福島医薬品関連産業支援拠点化事業（福島事業）」の事業・実績を受け継ぐ、後継団体として令和2年2月3日に設立されました。当財団は、「未来のパンデミックに備える」というビジョンを設定し、病原体に対する抗体遺伝子を網羅的に取得して備蓄しておく事業を進めて参ります。

また、これまでTRセンターおよびTRセンター発ベンチャー企業等と連携することにより、「研究開発成果物活用分野」において、福島事業の研究開発成果物（福島コレクション®）の産業界への橋渡し（技術移転）を推進する役割を果たして参りました。そうした中、令和5年4月28日に文部科学省および経済産業省に当財団の事業計画が承認され「承認TLO」として認められました。今後は、承認TLOとして本格的に技術移転活動に取り組み、福島県立医科大学やその他研究機関等の研究成果や知的財産の橋渡しを通じて社会に貢献するべく、より一層精進して参ります。

また、技術移転活動の他に、研究開発部においては、第一部では各種解析およびデータベース構築・管理を、第二部ではがんを中心とした疾患モデル動物および各種抗体作製に係る研究を、第三部ではゲノム研究を進めて参ります。当財団の研究成果や福島県立医科大学の研究成果を社会に還元することにより、国民の健康増進および日本の科学技術の進歩のために尽力して参ります。

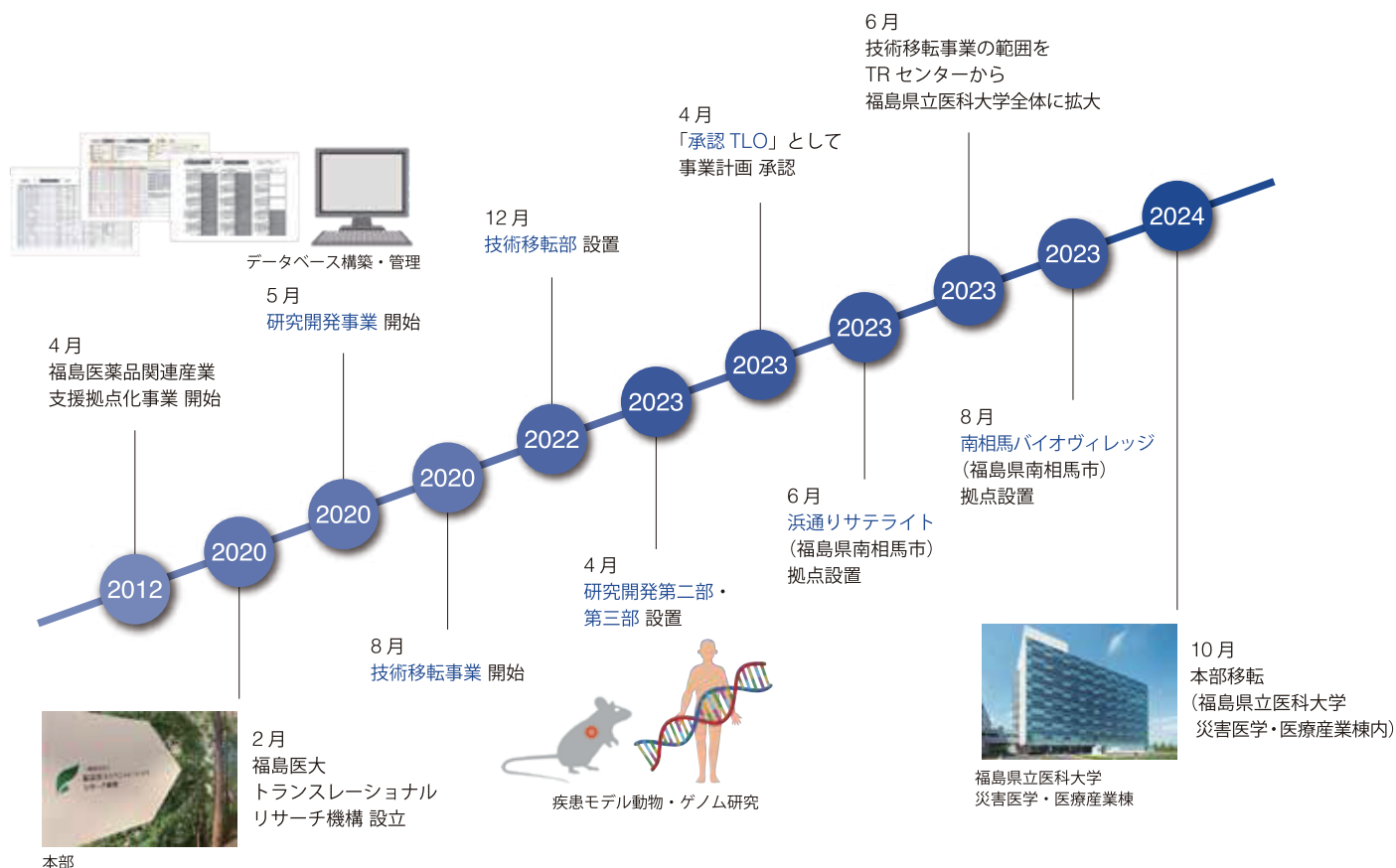
さらに、これらの業務を通して、会員の皆様の研究開発支援や、新たな医薬品関連産業の創出・集積を目指し、福島復興に貢献して参ります。

今後も一丸となり、さらなる飛躍ができるよう精進して参りますので、変わらぬご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長 家村 俊一郎



沿革



事業内容

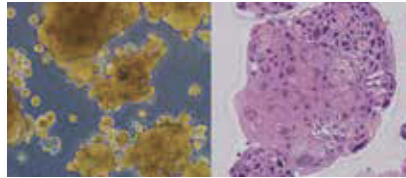
希少かつ有限な臨床検体を、医薬品等の開発や基礎研究に利用しやすいように“生体由来加工試料”や“解析情報”に変えて収集・保存しております。それらの研究成果は製薬企業、検査・診断薬企業、大学の研究者などに提供しており、様々な研究に活用いただいております。



患者由来凍結腫瘍組織 (F-PDX®)



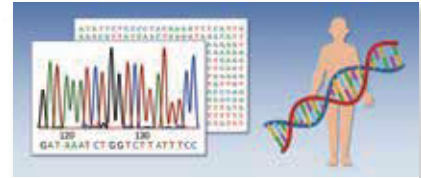
網羅的遺伝子発現解析等により、ヒトがん組織の特徴を保持していることが確認された患者由来凍結腫瘍組織 (F-PDX®) を提供いたします。
ご利用者の施設で継代して増殖させることも可能です。また、使用期限やランニングロイヤリティもなくご利用いただけます。



がんオルガノイド (F-PDO®)



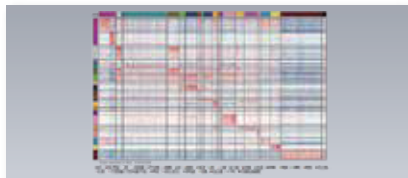
従来のがん細胞株とは異なり、ヒトの体内に存在するがん組織に近い状態を維持した培養細胞を提供いたします。一部の系統は、免疫不全マウス等に移植して継代・増殖させることも可能です。
がんの基礎研究や*in vitro*における抗がん剤の薬効試験等にご利用いただけます。



ゲノム解析データ



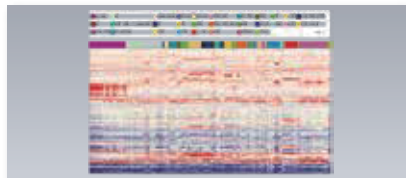
全エクソーム解析で取得した日本人(アカデミアのみならず営利企業でも利用可能な同意書をいただいております)のがんゲノム解析データを提供いたします。
30種のがんを対象とし、727症例分のデータがございますので、がん研究にご利用いただけます。



細胞株の網羅的 遺伝子発現解析データ



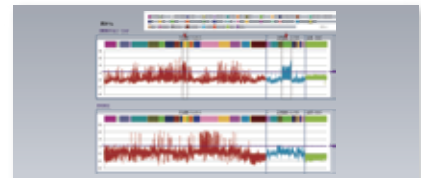
1,000種類以上の細胞株の網羅的遺伝子発現解析データをまとめて提供しております。実験で使用する細胞株の選択やバリデーション、薬効試験との相関解析、特定の遺伝子の発現分布の解析等にご利用いただけます。



カニクイザルの網羅的 遺伝子発現解析データ



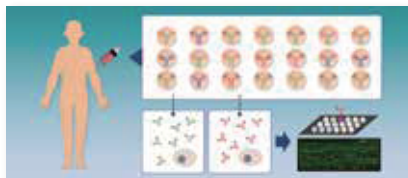
カニクイザルの各種正常臓器・組織(365種類)の遺伝子発現データを提供いたします。ヒトでは決して採取できない臓器・組織のデータもございます。特定の遺伝子ごとの提供が可能です。ヒトの正常モデルとして、薬剤の標的分子の正常組織での発現分布を確認できます。



ヒトがん組織・正常組織の 網羅的遺伝子発現解析データ



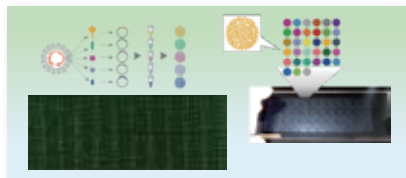
標的分子(特に抗体医薬の標的分子)の発現分布を確認できます。がん組織における発現分布を確認することにより、抗がん剤の薬効予測または適用拡大の可能性や、正常組織における発現分布を確認することにより副作用の予測にもご利用いただけます。



天然ヒト抗体の ライセンス



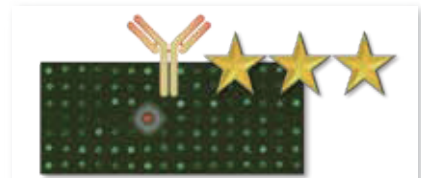
ヒトB細胞からクローニングした完全ヒト抗体遺伝子の情報をライセンスいたします。標的抗原に対する反応性、標的以外の抗原に対する交差性について、タンパク質マイクロアレイで評価し、特異性の高い抗体の提供が可能です。また、自己抗体から抗微生物抗体まで幅広くそろえておりますので、様々な用途にご利用いただけます。



タンパク質 マイクロアレイ解析



約16,000種類の抗原(タンパク質)が搭載されており、血中抗体の網羅的解析、抗体(抗体医薬を含む)の標的特異性の評価が可能です。また、微生物タンパク質マイクロアレイを用いて外来抗原(約2,500種類のウイルス、病原性微生物等)に対する抗体の網羅的解析も可能です。



市販抗体格付けと 3つ星抗体



タンパク質マイクロアレイによる市販抗体の評価結果を公開しております。抗体の特異性と非特異性(オフターゲット)を網羅的に評価し、優れた抗体のみを製品名とメーカーを含めて公表しております。どなたでも自由に無料で閲覧できるものですので、ご研究のご参考にしていただけます。



ご寄附のお願い

一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構は、当財団の活動にご賛同いただける個人様、企業様からのご寄附を広く募っております。「安全な社会づくりを支援したい」「医療の発展に貢献したい」「一人一人が健康でいたい」などの皆様のお気持ちが当財団の活動をより広く確かなものにしていきます。

皆様からのご寄附は、下記の社会還元を目的とした事業のために大切に活用させていただきます。

- ・ 抗体遺伝子の網羅的取得および備蓄のための研究費用
- ・ 研究成果や知的財産を社会へ還元するための活動費用
- ・ 一般向け研究会、講演会および若手研究者向け研修会、勉強会、情報交換会等開催費用

ご寄附は下記の方法にて受け付けております

● 銀行振込〈1,000円から受け付けております〉

(銀行名) 三井住友銀行 日本橋支店

(口座番号) 普通 8509926

(口座名義) イツパツザ イダソホジツフクシマイタ イトランスレーショナルリサーチキョ

※ お手数ですが、お振込の際は下記メールアドレス宛またはFAXにて
【氏名・住所・電話番号・振込予定日・寄附金額・口座名義(氏名と異なる場合)】を
ご連絡いただけますと幸いです。

※ 誠に恐れ入りますが、振込手数料は寄附者様にご負担願います。

✉ tr_kifu@ftrf.jp FAX 024-573-6083

● オンライン寄附〈クレジットカード〉

寄附サイト(シンカブル)よりご寄附をお願いいたします。

<https://syncable.biz/associate/ftrf>



財団情報 Information

■ 一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構 本部

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 福島県立医科大学 災害医学・医療産業棟1階
TEL/FAX：024-573-6083
Eメール：fukushima.tr@ftrf.jp ホームページ：https://ftrf.jp/



■ 福島医大オフィス・研究所

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 福島県立医科大学 災害医学・医療産業棟1階
TEL：024-573-6083

■ 日本橋オフィス・研究所

住所：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング5階506号
TEL：03-6225-2971

■ 浜通り第一研究所

住所：〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町2-60-1 錦町複合ビル2階

■ 南相馬オフィス・研究所

住所：〒975-0072 福島県南相馬市原町区北長野字南原田66-2 南相馬バイオヴィレッジ1号棟

お問合せ Contact

■ 財団に関するお問合せ

Eメール：fukushima.tr@ftrf.jp お問合せフォーム：https://ftrf.jp/contact_2/

■ 技術移転に関するお問合せ

Eメール：tlo@ftrf.jp

